

〈評議員〉辻 博之(つじ ひろゆき) 1966年1月30日生 北海道農業試験場 畑作研究センター TEL:0155-62-9274, FAX:0155-61-2127, E-mail: tuzihiro@mnr.affrc.go.jp

一昨年より北海道に移ってまいりました。大規模畑作生産・耕地管理技術について研究を進めるにあたり、根とその周辺環境を一つの切り口にして、なにができるのか模索している段階です。根研究会を通して根に関する知見を広めるとともに、北海道農業の現場における根関連の問題について情報発信していきたいと思っております。宜しくお願いします。

〈評議員〉山口 淳二(やまぐち じゅんじ) 1956年6月23日生 名古屋大学生物分子応答研究センター TEL: 052-789-5219, FAX: 052-789-5226, E-mail: jiyama@agr.nagoya-u.ac.jp

今回はじめて評議員に加わらせていただきました。会員になって間もないのですが、宜しくお願い申し上げます。私は、イネを用いて糖代謝、糖シグナリング、糖輸送の研究やジベレリンによる草丈制御に関する研究を行ってきました。ただ、最近では、特にイネの根の形態形成や窒素源の輸送に興味を持ち研究を進めています。主に種子で培ってきた物質輸送やシグナル伝達のノウハウを今後は根で活かしていきたいと考えています。

〈評議員〉山下 正隆(やました まさたか) 1948年11月2日生 九州農業試験場畑地利用部 TEL:096-242-1150, FAX:096-249-1002, E-mail: my898@knaes.affrc.go.jp

1999年4月から総合研究部併任で熊本県西合志に勤務しています。現在はカンショの根系形成、カンショ根からの不定器官形成に関する仕事を少しずつ進めております。最近では、だんだん雑用の割合が高くなってきて研究時間の確保に苦勞します。このところ農業分野でも速効性のある成果が求められますが、本当に役立つ技術は、作物の基本的な生理生態を踏まえた上でこそ可能です。本研究会が根に関する地道な研究の強い味方となるよう、力を尽くしたいと思います。

## 根研究会会則

- 第1条 本会は、根研究会 (Japanese Society for Root Research, JSRR) と称する。
- 第2条 本会は、植物の根 (その他の地下器官を含む、以下同様) およびこれを取り巻く環境に関する学術を発展させるとともに、同学の士の親睦を深めることを目的とする。
- 第3条 本会は、第2条で規定した目的を達成するために、つぎの事業を行なう。
1. 研究集会・シンポジウムその他の会合の開催
  2. 会誌の刊行
  3. 根研究会賞の授与
  4. 国際交流の推進
  5. その他、本会の目的を達成するために必要な事業
- 第4条 本会の会員は、個人会員および団体会員とする。個人会員は本会の趣旨に賛同して入会した個人、団体会員は同じく本会の趣旨に賛同して入会した団体または機関とする。
- 第5条 本会に入会しようとする場合は、氏名、所属、連絡先、その他の必要事項を明記した文書に、会費を添えて本会に申し込むものとする。また、本会を退会しようとする場合は、その旨を文書で本会に連絡しなければならない。
- 第6条 会員は、下記の年会費を前納しなければならない。1. 個人会員 3000円、2. 団体会員 8000円。ただし、1月をもって年度の始まりとする。長期に渡り会費を滞納した場合は、退会扱いにすることがある。
- 第7条 本会に、つぎの役員をおく。会長1名、副会長2名、監査1名、評議員若干名、事務局長1名。
- 第8条 会長は、その他の役員と協議しながら会務を統括し、本会を代表する。副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときや長期に渡り不在となる場合に、その代理を務める。監査は、会務を監査する。評議員は、重要な会務を審議し、執行する。
- 第9条 会長は個人会員の投票により、個人会員の中から選出する。選出方法の詳細は別に、これを定める。副会長、監査、評議員および事務局長は、個人会員の中から会長が委嘱する。
- 第10条 役員任期は、2年とする。会長、副会長、監査は連続して5年以上は重任できない。
- 第11条 第3条で規定した事業を遂行するために、重要な事業については、それぞれ委員 (および委員長) をおく。委員 (および委員長) は、会長が委嘱する。